

ふん こつ さい しん 粉 骨 砕 身



あちこつと！ みてみやん



伊佐市議会だより

令和7年2月 第65号

- 議会新体制スタート P 2 ～ P 6
- 議案の内容 P 7 ～ P 10
- 委員会報告 P 11 ～ P 13
- 陳情・討論 P 14 ～ P 15
- 賛否の分かれた議案・議会のとりくみ P 16
- 一般質問・いさの人 P 17 ～ P 19
- 3月議会スケジュール・編集後記 P 20

第5期

伊佐市議会

議員16人の紹介



議長 福本 千枝子

ふくもと ちえこ (76歳)

議席番号：16

党派：無所属

期別：5

伊佐市議会初の女性議長に就任するという大変な光栄と責務を感じております。
今回の改選により、新人議員5人が加わり、16人の伊佐市議会議員の誕生となりました、新人議員の活躍を期待しております。

2024年元旦に発生した能登半島地震により、多くの犠牲者が出たことは記憶に新しく、防災に対する危機管理の必要性を感じたところであります。

現在の伊佐市の状況は、少子高齢化と人口減少が喫緊の課題であります。伊佐市の第一次産業である農林畜産業において「稼げる農業」への転換や後継者育成、若者が地元に残る為の施策、子ども達の学校生活が安心・安全であることも重要です。また、「特別支援学校」設置も大口南中学校跡に決まり、令和11年4月開校の予定です。誘致活動に頑張つて来られた保護者の頑張りに敬意を表します。議会も今期定例会(12月議会)から、時代の流れと共にタブレットによる議会となり、試行錯誤をしています。

市民の皆様の声を反映し魅力ある議会を目指し、執行部と共に「伊佐市のまちづくり」に頑張つてまいります。

更なるご指導・ご協力をお願いし、皆様のご多幸・ご健勝をご祈念申し上げます。



副議長 星野 元興

ほしの もとおき (50歳)

議席番号：7

党派：無所属

期別：2

5期目となる伊佐市議会がスタートしました。今回の改選で新たに加わった5人の議員と共に、市民の皆さまと歩む議会を作り上げてまいります。

さて、コロナ禍を経て、私たちの生活は大きく変化しました。オンライン会議やリモートワークが普及し、時間や場所にとらわれない働き方が一般化しました。これは、地理的な制約を受けやすい伊佐市にとって、大きなチャンスです。このような新しいライフスタイルに合わせて、伊佐市が「選ばれる街」として発展することが、過疎化を食い止めるための大きな施策となると考えます。

伊佐市の魅力を再発見し、積極的に発信していくことが求められ、住みやすく、働きやすい街づくりのためのインフラ整備や、地域経済を支える新たな施策も必要となります。議会は、それら施策を後押ししながら、施策を前進させていく役割を担っています。

議会の使命は、市政に対し多様な市民の声を反映させ、必要な修正を加えることです。さらに、地域の課題を解決するために新たな政策提案を行い、市民の生活をより良くするために議論を尽くすことが望まれます。

・私たち議会は、伊佐市を誇りに思える街にするために全力を尽くします。

・私たち議会は、皆様をしっかりと受け止め、実現するために努力してまいります。

共に、より良い伊佐市を作り上げていきましょう。新しい議会にご期待ください。



小田原 宏

おだはら ひろし (43歳)

議席番号：1

党 派：無所属

期 別：1



有郷 豊喜

ありごう とよき (49歳)

議席番号：2

党 派：無所属

期 別：1



楠元 彩子

くすもと あやこ (55歳)

議席番号：3

党 派：無所属

期 別：1



中村 浩久

なかむら ひろひさ (64歳)

議席番号：4

党 派：無所属

期 別：1



奥 浩一

おく こういち (66歳)

議席番号：5

党 派：無所属

期 別：1



村岡 強志

むらおか つよし (46歳)

議席番号：6

党 派：無所属

期 別：2



竹原 研二

たけはら けんじ (57歳)

議席番号：8

党 派：無所属

期 別：2



庵下 信一

あんした しんいち (69歳)

議席番号：9

党 派：無所属

期 別：2



武本 進一

たけもと しんいち (54歳)

議席番号：10

党 派：公明党

期 別：3



岩元 努

いわもと つとむ (57歳)

議席番号：11

党 派：無所属

期 別：3



今村 謙作

いまむら けんさく (63歳)

議席番号：12

党 派：無所属

期 別：4



森田 幸一

もりた こういち (76歳)

議席番号：13

党 派：無所属

期 別：4



緒方 重則

おがた しげのり (68歳)

議席番号：14

党 派：無所属

期 別：5



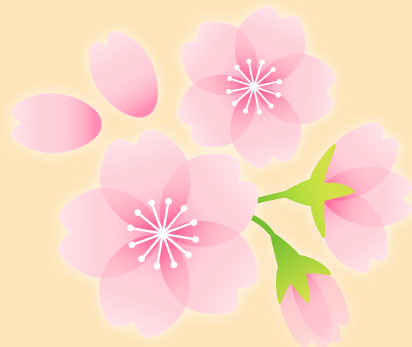
畑中 香子

はたなか きょうこ (52歳)

議席番号：15

党 派：日本共産党

期 別：5



各委員会の紹介

▼総務産業委員会



■所 管■

総務課、企画政策課、財政課、地域総務課、税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農政課、林務耕地課、地域振興課、建設課、都市整備課、農業委員会、水道課の所管に属する事項、他の委員会に属さない事項

(後列左から) 奥浩一・中村浩久・有郷豊喜

(前列左から) 庵下信一・竹原研二・◎村岡強志・○今村謙作・星野元興

(◎は委員長 ○は副委員長)

▼文教厚生委員会

■所 管■

教育委員会、市民課、環境政策課、福祉課、こども課、長寿介護課の所管に属する事項

(後列左から) 武本進一・小田原宏・緒方重則

(前列左から) 福本千枝子・○楠元彩子・◎畑中香子・岩元努・森田幸一

(◎は委員長 ○は副委員長)



▼監査委員

庵下信一



▼一般会計予算決算委員会及び特別支援学校整備調査特別委員会



一般会計予算決算委員会とは、一般会計の予算の審議及び決算の認定を行う。構成は議長を除く全議員。

特別支援学校整備調査特別委員会とは、開校後における地域と連携したまちづくりを調査する委員会です。構成は議長を除く全議員。

(後列左から) 奥浩一・中村浩久・有郷豊喜・小田原宏・今村謙作・森田幸一・緒方重則
(前列左から) 楠元彩子・村岡強志・庵下信一・武本進一・竹原研二・岩元努・星野元興・畑中香子
(一般会計予算決算委員会 竹原研二委員長、武本進一副委員長)
(特別支援学校整備調査特別委員会 小田原宏委員長、緒方重則副委員長)

▼議会運営委員会

議会運営委員会とは、議会の運営に関する事、会議規則、委員会に関する条例等に関する事、議長の諮問に関する事など、議会運営の全般について協議、意見調整を図るために設けられる常設の委員会です。



(後列左から) 庵下信一・竹原研二・村岡強志
(前列左から) 楠元彩子・○武本進一・◎今村謙作・畑中香子
(◎は委員長 ○は副委員長)

▼議会広報等特別委員会



議会広報等特別委員会とは、年4回発行の議会広報紙『議会だより』の編集・発行を行う特別委員会です。

(後列左から) 奥浩一・中村浩久・有郷豊喜・小田原宏
(前列左から) ○楠元彩子・◎畑中香子
(◎は委員長 ○は副委員長)

一部事務組合議会議員

一部事務組合は、地方公共団体の一つで、市町村がその団体の一部及び他の団体と同じ事務の一部を共同して処理するために設置されたもので、それぞれの一部事務組合には議会が設置されています。市議会では、その組合議会に議員を派遣しています。

伊佐湧水消防組合

有郷 豊喜
星野 元興
竹原 研二
今村 謙作
福本 千枝子



大口地方卸売市場管理組合

中村 浩久
奥 浩一
村岡 強志
庵下 信一
福本 千枝子



伊佐北始良火葬場管理組合

楠元 彩子
武本 進一
森田 幸一
緒方 重則
福本 千枝子



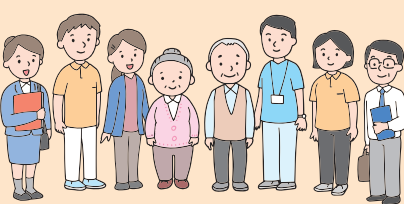
伊佐湧水環境管理組合

小田原 宏
岩元 努
緒方 重則
畑中 香子
福本 千枝子



始良・伊佐地区介護保険組合

福本 千枝子



議会選出各種委員会委員

都市計画審議会

村岡 強志
今村 謙作
竹原 研二
畑中 香子
楠元 彩子
小田原 宏



菱刈公衆浴場運営委員会

竹原 研二
今村 謙作



宮人一般廃棄物最終処分場 公害対策専門委員会

小田原 宏
岩元 努
畑中 香子
星野 元興
福本 千枝子



民生委員推薦会

森田 幸一
畑中 香子





12月定例会 「議案の審議」

会期：12月6日～1月8日 34日間



昭和51年 建設中の大分地方卸売市場

可決

第70号 鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について

鹿児島県市町村総合事務組合の組織団体である、大口地方卸売市場管理組合の、令和7年3月31日解散に伴う変更。

可決

第71号 令和6年度一般会計補正予算(第10号)

予算額に2億3350万2000円を増額し、予算総額を198億9997万3000円に。

■主な補正項目・事業内容

※概数で表示

◆民生費関連事業

1億5200万円

●障害者介護給付事業

8800万円

障害福祉サービス利用の増加等による、障害者介護給付費所要額の増額。

●その他民生費関連経費

6400万円

・児童手当の拡充（R6年10月）に伴う、給付費所要額の増額。
・令和5年度各事業実績に伴う国庫負担金等の精算返納。

◆教育費関連事業

2310万円

●普通・特別支援学級等環境整備

1250万円

令和7年度において、普通・特別支援学級等の増減が見込まれるため、教室の改修や備品購入費など環境整備に必要な経費。

●その他教育費関連経費

1060万円

・小学校の小規模改修。
・通信ネットワーク評価委託。



◆その他の主な事業

5890万円

●農地・農業用施設災害復旧事業

3900万円

7月豪雨及び台風10号による農地・農業用施設災害復旧工事費等に係る経費の増額。



●その他の経費

1990万円

- ・伊佐湧水消防組合に対する負担金の増額。
- ・危険廃屋解体撤去補助金の増額。

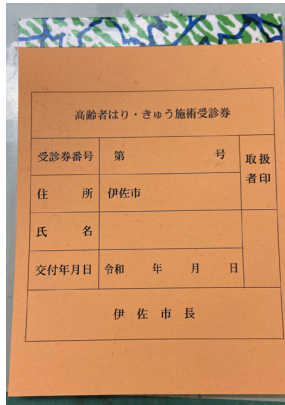
- ・イベント開催期間延長に伴う、交通整理員委託費の増額。

可決

第72号 令和6年度

介護保険事業特別会計

補正予算（第3号）



高齢者はり・きゅう施術受診券

職員の人事異動に伴う経費。はり・きゅう施術助成事業の受診券の増刷。

可決

第73号 令和6年度

介護サービス事業特別会計

補正予算（第1号）

介護予防専門員の配置換えによる通勤手当の不足分。

可決

第74号 令和6年度

水道事業会計補正予算

(第3号)

制度改正による児童手当額の増、漏水探知機の購入費用。



漏水探知機

可決

第75号 刑法等の一部を改正

する法律の施行に伴う関係条
例の整理に関する条例の制定
について

「懲役・禁錮」が「拘禁刑」に改正されたため関係条例を整理。

可決

第76号 伊佐市行政手続にお

ける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

個人番号を利用することができ
る事務に、重度心身障害者医療費
助成条例に関する事務を加える。

可決

第77号 伊佐市子ども医療費

助成条例の一部を改正する条例の制定について

令和7年4月1日から、0歳から18歳に達する日以降最初の3月31日まで窓口負担が無い現物給付方式に改正するため。

可決

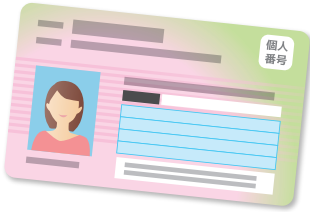
第78号 伊佐市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

児童扶養手当法施行令及び特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴う改正。

可決

第79号 伊佐市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

被保険者証がマイナ保険証や資格確認書へ移行することに伴う改正。



可決

第80号 伊佐市総合交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

子育て支援センター及びこどもの第三の居場所の整備に伴う、施設の解体撤去。

同意

第81～83号 公平委員の選任について

狩行 紀六 氏(再)
大辻 寛信 氏(再)
山下 和弘 氏(再)

公平委員会は**3人の委員**で構成されており、地方自治法や地方公務員法で設置が定められている。任期は4年。

主な業務は、市役所職員の利益の保護と公正な人事権を保障するため、職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する措置要求を審査し、必要な措置を講ずる。職員の不利益処分についての不服申立てに対する裁決または決定を行うこと等。

職員からの苦情相談に関することも公平委員の仕事。

同意

第84号 監査委員の選任について

庵下 信一 議員

監査委員は、地方公共団体の財務管理や事業の経営管理、その他の行政運営に関して優れた識見を有する者「識見選任委員・任期4年」と議員「**議員選任委員・議員の任期**」で構成されており、地方自治法で設置が義務付けられている。

主な業務は、市の財務に関する事務が適正に執行されているか、市の補助金などの財政的援助を行っている団体でその補助金などが適正に使用されているかなどについて、市長から独立した立場でチェックを行う。

可決

12月19日に追加提出された、
国家公務員の給与改定に準じ
た9議案

第85号 令和6年度
一般会計補正予算（第9号）

第86号 令和6年度
国民健康保険事業特別会計
補正予算（第2号）

第87号 令和6年度
介護保険事業特別会計
補正予算（第2号）

第88号 令和6年度
後期高齢者医療特別会計
補正予算（第2号）

第89号 令和6年度
水道事業会計補正予算
（第2号）

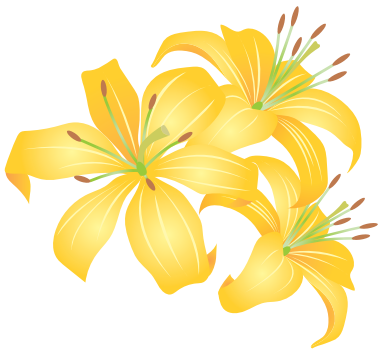
第90号 令和6年度

農業集落排水事業会計
補正予算（第2号）

第91号 伊佐市議会議員の議
員報酬、費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条例の
制定について

第92号 伊佐市特別職の職員
給与に関する条例の一部を改
正する条例の制定について

第93号 伊佐市職員の給与に
関する条例の一部を改正する
条例の制定について



本会議で報告されたもの

報告8号

専決処分の報告

広域農道における、傾倒の竹に
よる、トラックのサイドミラー・
フロントガラスの破損事故。

主な質疑

庵下議員

竹の所有者は、過失割合の根拠
はどのようになっているのか。

建設課

広域農道敷地内に生えているた
め、伊佐市のものである。

保険会社から、時間・場所・状
況を判例に照らし、過失割合の提
示があった。

報告9号

専決処分の報告

市道の陥没箇所にて左前輪が落下
し、車両の一部が破損した。

主な質疑

庵下議員

市道の損傷等の通報の仕組みは。

建設課

現在、国道のような標識表示に
よる通報の仕組みはなく、道路パ
トロールや発見された方からの連
絡により補修を行っている。



総務産業委員会審査報告



村岡 強志 委員長

総務産業委員

今村 謙作 奥 浩一
有郷 豊喜 星野 元興
中村 浩久 竹原 研二
庵下 信一 村岡 強志

第74号 令和6年度

水道事業会計補正予算

(第3号)

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

工具機器購入64万5000円とは何か。

水道課

漏水探知機購入の費用になる。

第76号 伊佐市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

改正によって子ども医療助成等のスムーズな運営が可能になると考えてよいか。

企画政策課

今回、マイナンバーカードが保険証として利用できることになり、各種情報の取得において利便性が図られるというふうに考えている。

第80号 伊佐市総合交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 伊佐市総合交流拠点施設の代わりになる場所は今後どうなるのか。

地域振興課

今後は総合体育館が近いということもあるので、そちらの方を有効活用していただくことになる。

委員

そのことについて地域の皆さんの理解は。

地域振興課

子育て施設を整備するという強い要望がある中で、設置場所が決定した。既存施設の取壊しが必要となったための用途廃止である。地域振興課としては現在利用されている方々には個別に話をしている。



陳情第2号についてはP14に掲載

文教厚生委員会審査報告



畑中 香子 委員長

文教厚生委員

緒方 重則 武本 進一
岩元 努 楠元 彩子
福本千枝子 森田 幸一
小田原 宏 畑中 香子

第72号 令和6年度

介護保険事業特別会計

補正予算(第3号)

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

はり・きゅう施術助成事業の印刷製本費、2万2000円の増額は、本年度の回数を増や

すということか。

長寿介護課

本年度の利用者数が増えているため、次年度用の印刷予定数（冊数）を増刷する経費。1冊あたりの受診券の枚数は（20回）変わらない。

第73号 令和6年度

介護サービス事業特別会計
補正予算（第1号）

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

繰入金の補正額7000円の根拠は。

長寿介護課

人事異動にともなう配置替えがあったため職員の通勤手当を増額する。

第77号 伊佐市子ども医療費

助成条例の一部を改正する条例の制定について

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員 助成事業から給付事業となる意味は。

こども課

助成の場合は自動償還払いで、一旦お金を支払ってから払い戻される仕組み。

今回窓口での負担がなくなるため給付という形の規定をする。

委員

条例改正に伴い増額となる医療費の見込み額は。

こども課

18歳までに拡充する分が約400万円、重心医療費移行分が約120万円、ひとり親世帯分が353万7000円で合計約888万円の増となる。

第79号 伊佐市重度心身障害

者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

マイナンバーカードを使うことによる文言の切り替えか。

福祉課

12月からマイナンバー

カードへの移行、それを使わない場合は資格確認書を使うことに合わせた改正である。



国民健康保険資格確認書

一般会計予算決算委員会

審査報告



竹原 研二 委員長

一般会計予算決算委員

議長を除く全議員

第71号 令和6年度

一般会計補正予算（第10号）

◎委員会での採決

「可決すべきもの」

委員

学級増になる学校名と教材備品の購入について。

学校教育課

平出水小学校と菱刈中学校で普通学級が1つずつ増加の予定。大口小で支援学級が2学級増加予定。

備品購入は普通学級に電子黒板と支援学級に大型テレビを予定。



電子黒板を使った授業

委員

障害者自立支援の扶助費8800万計上は報酬改定と利用増と思うが、新規の利用者増か。

福祉課

個々のサービスは内容により価格が違う。これがずっと増える訳ではない。当然、人口は減少する。しかしながら高齢化が

進んでいるので、しっかりとしたサービス提供をする方針で考えている。

委員 高熊温泉施設の試験営業について。

長寿介護課 9月に温泉のポンプが故障し、ポンプの入れ替え修理をした。修理前は湯量が減り、週6日の営業が出来ない状態だったが、交換後は湯量が復活してきた。湯量が減った直接の原因は判明していないが、試験営業として3月まで通常営業をしてみるため、補正予算を計上した。



ポンプ入換え修理

委員 大口さくらこども園の一時預かり事業とは、どのような内容か。

こども課 大口さくらこども園に在籍していない園児を一時的に

預かる事業。一時預かりの費用は保護者負担である。



大口さくらこども園

委員 行旅人埋火葬の状況は。

福祉課 令和4年は1件、令和5年は0件、令和6年は2件あった。今後、身寄りのない方や関与をしない方が増えてくるので、そこに対応した施策等を考えている。

委員 農地・農業用施設災害復旧事業の被害状況について。

林務耕地課 国の災害復旧費の補助を利用して施工している事業の農地が5件で施設が5件。農地施設合併施工では10件。単独災害で技術的困難なものや設計図面がないとできない農道水路が11件。

委員 土木作業員の減少について、作業内容と人数は。

建設課 作業内容は側溝の浚渫（しゅんせつ）作業や路肩の土砂上げ作業に台風後の伐採作業、草払いが主な作業で、人数は大口・菱刈で8名である。

委員 防災行政無線が今年度3月末に完了という形で進められていると思うが、まだ必要な調査があるのか。

総務課 自治会の調査は各自治会長さんをお願いした。今後は、未加入世帯や事業者分を郵送で通知をして調査をする。

委員 菱刈公衆浴場について様々な会議があり、会議費が増えている。予算がなくなったので閉める、ということがないように地域住民の意見も取り入れていただきたい。

地域総務課 今年度も7月に運営委員会を開き基金や管理、もう

少し管理が簡単にできないか等について話し合いを行った。公衆浴場周辺の地盤沈下の問題もあるが、利用者が多いので皆さんの意見を取り入れて、改善していきたい。

委員 イルミネーションイベントの実施期間が延長になった経緯や委託料の増加について。

地域振興課 各イベントの増加は2割程度。曾木の滝のみみが例年より約2週間長く楽しめた。イルミネーションイベントが当初1月末を予定していたが、2月末まで開催されたことや忠元公園の渋滞を緩和させる駐車場を増やすため、警備員増を予定している。



イルミネーション in 曾木の滝

陳 情

件 名		提出者	付託先
陳情第2号	伊佐市議会議員定数の減を求める	嶽崎 至六郎	総務産業委員会

〈陳情の趣旨〉

伊佐市議会議員定数の減を求める。

1, 現行議会議員定数16人を定数12人とする。

1, 伊佐市の人口、面積、財政力、市政の現状、将来の予想を展望、考慮しここに陳情いたします。

令和10年11月執行の伊佐市議会議員選挙から執行する。

■総務産業委員会審査

- 【委員】** 経費がかかるので議員を減らすということだが、多くの人の意見をくみ上げる、一人一人の意見に耳を傾けることが民主主義の主題であると考える。
- 【委員】** 定数を議論するには何を基に議論するのが基本となる、明らかに人口は減少し、全国的に議員削減の流れもあるが、むやみやたらに減らすことは有り得ない。定数をどうするかは、十分議論に値する。
- 【委員】** 「多くないか」との市民の声もよく聞く。特別委員会をつくり、議員全員で数年をかけて議論が必要だ。

◎委員会における審査の結果 「趣旨採択すべきもの」

■本会議における討論

反 対 星野 元興 議員

理想の議員数は人口1に対し議員1。つまり直接民主主義だが理想論に過ぎず、今すぐ実現できるものではない。民主主義が単なる多数決ではなく、少数派の声を尊重しなければならないことには何も変わらない。少数派の意見を市政に反映しにくくなる議員定数削減を人口減少を理由に議論することに反対。

趣旨採択 今村 謙作 議員

陳情の中身の部分に納得できないところもあるが、定数や議員の報酬について特別委員会を設置して議論を進めていかなければならない。

反 対 畑中 香子 議員

議会制民主主義のもと、議員は住民と行政をつなぎ行政に対するチェック機能を発揮する重要な役割がある。住民要求が山積しているが、行政に届け切れていない現状で、議員定数削減では住民要求が届かない状況を加速させてしまう。

趣旨採択 庵下 信一 議員

社会情勢の変化を受けて、議員定数の在り方について検討をしてほしいとの強い思いを感じる。主権者である市民から示された問題提起を、付託を受けた議員として受け止めなければならない。

■本会議における採決の結果

「趣旨採択」 (趣旨採択) 11 (反対) 4

※趣旨採択とは 請願・陳情に対する議会の意思決定は、理論的には「採択」か「不採択」の2種類しかないが、議会としては、願意については十分に理解できるが、審議に時間を要する場合等に採られる請願・陳情に対しての決定方法をいいます。

討 論

議案について、反対・賛成の立場で、発言したい議員が自分の意見を述べること

議案第85号 令和6年度
一般会計補正予算（第9号）

反対 畑中 香子議員

本補正予算には市議会議員と特別職の期末手当増額改定が含まれる。財政調整基金は市民の税金から積み立てられており、市民サービスなど市民のために使われるべきものである。

賛成 緒方 重則議員

今回の補正予算は、人事院勧告に基づいた法改正によるものであり、特別職や市職員の保身のための報酬・給与改定でないことは明確であることから賛成するものである。

議案91号 伊佐市議会議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 畑中 香子議員

国家公務員の給与改定に準じ、議員の期末手当を増額改定すると議案だが、人事院勧告は国家公務員の職員に対する機能を持つもので、地方公務員や議員、特別職に準じる義務は課されない。

賛成 緒方 重則議員

今回の条例改正は、人事院勧告に基づくものであり、民意を忖度し判断する事案ではないと考え賛成するものである。

議案第92号 伊佐市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対 畑中 香子議員

特別職の給与改定は法的根拠がなく、市民生活が困難を極める中自分たちの給与の増額改定では「お手盛り」と市民から批判されても仕方がない。市民の理解は得られない。



12月議会での議案等の中で、賛成と反対に分かれたもの

議案番号	議 案	小田原 宏	有郷 豊喜	楠元 彩子	中村 浩久	奥 浩一	村岡 強志	星野 元興	竹原 研二	庵下 信一	武本 進一	岩元 努	今村 謙作	森田 幸一	緒方 重則	畑中 香子	福本千枝子	
85	令和6年度 一般会計補正予算 (第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		※議長のため賛成・反対には参加しない ○は賛成、●は反対、△は趣旨選択
91	伊佐市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
92	伊佐市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
陳情2	伊佐市議会議員定数の減を求める	△	△	△	△	△	△	●	△	△	△	△	△	●	●	●		

議会のとりくみ



12月2日 議員タブレット操作研修



2月3日 議員ハラスメント研修



交通空白地の交通弱者解消を

市長／持続的運行体系で研究していく

武本 進一 議員



問 のりあいタクシーが令和6年10月1日から該当エリア内に住まいの方は、予約に応じて自宅前や乗り降り場所を巡回する運行方式となった。

どのような経緯でそのようになったか。また自宅から路線バス停留所まで離れているところなどは配慮が必要と考える。対応を伺う。

答 改定前におけるのりあいタクシーは、バス路線の代替としていたが、乗り合い率の向上が見られず、今回の改定において利便性の向上を図ることとした。また公共交通の再編に当たっては、広域を結ぶ幹線バスや市内バス路線、一般のタクシーなど維持していかな



ければならない。バス路線の空白地については、のりあいタクシーのエリア拡大を設定した。また、自宅から停留所まで離れている方への配慮については、バスやタクシーの事業体におけるサービスの供給体制や、市の財政的負担の状況などを考慮して検討する。

問 福祉タクシー利用券の枚数について、本市の中心地や菱刈の中心地から特に離れているところに住んでおられる方々に、枚数を増やせないか。

答 のりあいタクシー等の公共交通再編により、市街地から離れた地域にお住まいの高齢者等の交通弱者問題は一定程度は解消されるものと考えている。市民の生活に必要な地域公共交通の確保等の問題は、既存バス路線の維持も図りながら、複数の事業を通じて複合的に取り組んでいる。福祉タクシー利用券の交付枚数を増やすことについては、今は検討していない。

特別支援学校開校へ向けたまちづくりを

市長／県と連携して最大限の対応をしていく

岩元 努 議員



問 具体的なスケジュールや学校の設置計画、進捗状況について、保護者や地域住民の皆様に対し

て、どのように情報共有を行っていくのか。

答 知事より旧大口南中学校敷地に新たな分置が発表され、11月に県の整備計画がまとめられた。具体的なスケジュールとして、令和7年度に基本設計を実施し、令和11年度の開校を目指す。進捗については、県教育委員会からの情報発信をもとに、市関係課で共有しながら地元住民等への情報提供を行っていく。

問 学校のネーミング、ろうあ者の入学の検討や、地元企業での就労体験を通し地元雇用の確保、支援体制の充実について見解を示せ。

答 県は地域とのつながりを重視した環境整備に向けて取り組むとしており、県と連携して最大限の対応を進めていく。本市は医療機関や福祉サービス事業所が充実し、相談機関には専門職員が常駐し関係機関との連携も整っている。また就労継

続支援B型事業所や現場実習生を受入れている事業所も数多く存在し、これまでの取組と実績を基に、関係課や関係機関と連携し、福祉避難所や総合的な教育機関として充実に図る。これにより交流人口の増加や経済効果も期待できる。

市道の除草管理は

問 市道の除草作業の現状と課題について認識を示せ。

答 市道は647路線あり、これまでは自治会の共助により対応できていたが、高齢化や過疎化によって対応が困難になっており、土木作業員の定員も不足している。

今後、作業計画、機械化等について、効率化が図れないか検討していく。

【その他の質問】
・森林管理と路網管理の責任分担は



他市との連携強化を推進せよ

市長／交流を盛んにし、連携強化を図る

星野 元興 議員



問 市長の選挙公約に、他市との連携強化がある。私も伊佐市の弱点として、市外との交流の少なさを感じるところだ。ぜひ、積極的に推進してもらいたい。今後の連携方針は、

れまでは市単独での事業は実施していない。今後、協議が整えば検討していく。

学校給食での地産地消は

今後の連携方針は、

答 台湾の竹田郷とは友好交流協定の締結に向けた取組を進める。花蓮市とは、経済交流はもとより多分野における交流を促進していく。姉妹都市とは、コロナ禍により途絶えていた児童間での交流を復活させる。

問 台湾の花蓮市、竹田郷等との修学旅行や留学先としての連携は考えられないか。

答 留学に関しては、こ

問 学校給食への地産地消食材の導入は、地域の自然、文化、産業等への理解を深めるとともに、生産者の努力や食に関する知識を得ることができ、大切な機会である。地場産物利用割合の目標は令和7年度では35%であるが、進捗状況を示せ。

答 令和5年度、32.4%であり、目標数値に達していない。年間を通じて、出荷契約数量を確保できないことが課題と考える。



答 田植、稲刈りの農作業体験や、生産者との交流会や県農政普及課や市農政課による出前授業を実施している。さらに、市内事業所を交えた試食会も実施している。

問 地産地消推進の目的の一つに、生産者との交流を通じて食育の機会を得るという点が挙げられる。交流の現況を示せ。

庁舎建設関連工事入札は適正か

市長／適正に行われた

畑中 香子 議員



問 庁舎建設工事関係の入札は応札企業体がそれぞれ1社のみ、落札率は99%以上だが適正か。地方自治法の規定により

地方公共団体が発注を行う場合、より良いもの、より安いものを調達しなければならぬため一般競争入札が原則とされている。工事の質が下がるといけないのではないか。これにはならないのでは。

答 落札率の低い入札では工事の品質の低下など招く懸念がある。条件に合った方々を募った結果1社であった。競争性は担保されているため入札は適正に行われた。

問 予定価格がわかっていてもほんの数万円しか変わらない額を提示してくるにはよほどの自信がなければならぬが、何社が応札・閲覧されたかなどの情報も秘匿されているのか。

答 市の方から情報を流すことは一切ない。

学校給食センター民間委託の経緯は

問 給食センターの民間委託方針を決定とのこと

だが、議会での議論もなく保護者も何も聞いていない。経緯は。

答 業務の一部を民間に委託する。安定的な学校給食業務を継続するため、民間のノウハウを活用し、公と民の適切な役割分担の下、スムーズな移行が必要と考える。

問 偽装請負の問題など部分的であっても難しいと思う。保護者や市民と話し合ってから進めてほしい。

答 開始時期は令和8年8月から予定。丁寧な説明をし、理解を得て実施していきたい。





小・中学校のトイレ 洋式化の進捗状況は

市長／小学校38% 中学校50・5%

庵下 信一 議員



問 市長が掲げる「教育日本一のまち」には、ハード・ソフト両面からのアプローチが欠かせない。小・中学校トイレの洋式化の進捗状況と完了年度は。

答 小・中学校トイレの洋式化の完了年度については、教育委員会として特に定めてはいない。令和6年12月1日現在、小学校38%、中学校50・5%。トイレ施設自体の老朽化が進んでいるので、児童生徒の数も考慮した上で、トイレ施設の大規模改修等も考慮して検討する。

問 令和5年9月の文部科学省の洋便器調査では、本県は54・9%、

当市は40・3%で19市中11位である。全てを洋式化には言わないが、どこまで進めるのか、改善計画は必要ではないか。

答 生徒数の多い時代に造ったトイレ施設は、便器の数も人数に合わせてある為、トイレが遊ぶ状態が出てくる可能性もある。洋式化を個別に進めるのは現段階では少し立ち止まって、児童生徒の数を勘案しながらトイレ改修も含めて進めないと効率が悪くなる。

小中学校に冷水機設置を

問 夏場は、子どもたちが熱中症予防対策に水筒を持参しているが、冷水機を設置してはどうか。

答 現在、小学校8校、中学校1校に設置している。

市が設置したものではなく、卒業記念品としての寄贈、PTAによる設置となっている。

問 重いランドセル、氷の入った水筒、副教材など両手が塞がった状態での通学して来る。重さによる体への影響や心理的な負担も大きいのでは。

答 児童生徒の平等性を考えたときに、ないところに新たに教育委員会の方で設置する考えはない。



vol. 12

チームちむどん 世話役

前田健二さん

高校生たちの心を動かし、チームちむどんの結成に繋がりました。

チームちむどんの名前の由来は「舞台を見た伊佐の高校生たちが、舞台に出演していた沖縄の高校生達を見て『自分たちもあの中高生みたいにキラキラしたい』との声、その胸の高鳴りを意味する沖縄の方言『ちむどん』から。

現在は小中高生総勢36名で活動されています。『私たちは今後100年続く舞台を目指しています。舞台上上がるためにはシーンによりオーディションも行われ、その中では演者のレベルによっては落とされることもありますが、それも含めての人材育成。いずれこの子たちが社会人としての厳しい場面に遭遇しても強く生きていける子どもたちを育成するためにも日々頑張っています。実

12月末の風物詩、伊佐の小中高生を中心としたメンバーで構成されているチームちむどんによる舞台、現代版組踊「鬼武蔵」TADAMOTO忠元」。

2014年、企画政策課が開催した『若者塾』に沖縄の南島詩人平田大一さんを講師にお招きしたことがきっかけで、大口高校・伊佐農林高校・大口明光学園高等部の生徒たち総勢17名が沖縄に行き、同じ中高生が演じる舞台を観劇したことが



令和7年 第1回定例会のお知らせ

○本会議は午前10時開会です。

2月

20日(木)	本会議(招集日)
21日(金)	本会議(2日目)一般質問
26日(水)	本会議(3日目)一般質問
27日(木)	本会議(4日目)一般質問

3月

5日(水)	本会議(5日目)総括質疑
6日(木)	文教厚生委員会(9時から)
7日(金)	総務産業委員会(9時から)
10日(月)	一般会計予算決算委員会(9時から)
11日(火)	一般会計予算決算委員会(9時から)
13日(木)	一般会計予算決算委員会(9時から)
19日(水)	本会議(最終日)

※日程は変更になることがあります。詳しくは議会事務局(☎23-1335)にお問い合わせください。

議会をスマートフォン・パソコンでも視聴できます。

(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】

↓
【行政・議会】

↓
【議会】

↓
【議会インターネット映像中継】

大口庁舎、菱刈庁舎、まごし館では
議会ライブ中継をご覧になれます。



お詫び

通常は月初めの「広報いさ」と同時に定例会日程及び各議員の一般質問内容をお知らせするチラシをお届けしておりますが、3月議会は配布日程が合わないため、チラシのお届けがありません。ご了承ください。

各議員の一般質問内容や予定日等は伊佐市ホームページをご覧ください。議会事務局(電話23-1335)までお問合せください。

編集・発行責任者

議長 福本 千枝子

議会広報等特別委員会

委員長 畑中 香子

副委員長 楠元 彩子

委員 小田原 宏

中村 浩久

有郷 豊喜

奥 浩一



奥 浩一

※編集後記※

昨年は年初めの能登半島地震により、甚大な被害が発生し、災害に対する備えが必要であることを、再認識させられました。今年は穏やかな希望に満ちた新年を迎えることが出来ました。

本市では、昨年十一月に、市長・市議会議員選挙が行なわれました。市長選は現職の市長が二期目の政権運営へ、議会は女性初の議長が誕生し、新人五人を加えた十六人で、新たな充実したスタートとなりました。議会広報等特別委員会も、新人全員が委員となり、新鮮な目線で広報活動に取り組んでいます。表紙も市民の皆さまが、何か気になる見となる表題にして、骨を粉にして身を砕いて、力の限りを尽くす『粉骨砕身』の覚悟で臨んでいます。

議会の議案内容や議員の考えが、市民の皆さまのご意見に反映されているかなど、より分かりやすく見やすい広報誌にして行きたいと思っています。今後も様々な意見を取り入れて、多くの市民の皆さまに読んでいただける広報誌づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。